

コラム

編集・発行：金浦区自治会

発行日：2021. 1. 5

金浦自然との共生シリーズ⑤

文責：波多野 哲哉

金浦は、自然が豊かな地域です。しかし、「むかしはもっとたくさん**ウグイスタケ**が生えていたのに、いまはぜんぜん見ないなあ。」とか「川には**ウナギ**がいて、つけ針をしたら釣れたが、今はとれないなあ。」という話をお聞きしたことがあります。むかしと比べて、今は大分状況が変わってきているようです。では、何がどのように変わってきたのでしょうか？金浦は本当に自然が豊かなのでしょうか？

今私は兵庫県立大学大学院に出向させていただき、「**地域の自然の豊かさのはかり方**」を研究しています。自然の豊かさを「蝶（チョウ）」をカウントすることで明らかにしようというところみです。2020年には、市内8か所で調査したことを基に分析を進めていますが、国や県が「絶滅危惧種」に指定したチョウも確認できました。今回のコラムでは、まずどんな蝶が発見できたかをみなさんにご披露したいと思います。金浦にもこれらのチョウがすんでいる可能性が高いです。みなさん、見つけたらぜひ教えてくださいね。



ツマグロキチョウ

(環境省絶滅危惧Ⅱ類、県レッド要注目)

★9月～11月によく見ます。



キマダラルリツバメ

(環境省準絶滅危惧種、県レッドB)

★6月～7月に見られます。



オオムラサキ

(環境省準絶滅危惧種、県レッドC)

★7月～8月に見られます。



ギフチョウ

(環境省絶滅危惧Ⅱ類、県レッドB)

★4月前半にだけ見られます。